

③校務DX計画（抜粋）

- ・小牧市は校務支援システムを早期導入するとともに、自宅から学校の職員室の校務用端末を安全に遠隔操作できるシステムを導入し、教員の働き方改革を推進してきた。
- ・1人1台端末導入後は、授業支援ソフトウェアや学習eポータル等を活用し、児童生徒への各種連絡のデジタル化を進めてきた。
- ・また、令和3年度には、保護者連絡アプリを導入し、教員と保護者間の連絡（保護者から出欠連絡、学校からの配布文書等）をデジタル化した。
- ・教員間においては、校務支援システムのグループウェアやクラウドサービスを活用し、伝達事項、各種資料及び教材をオンラインで共有している。さらに、校内研修をオンラインで実施し、教員がいつでも研修内容をふりかえられるようにアーカイブ視聴の環境を整備している。

1 ゼロトラスト環境の構築

- (1) 校務系及び学習系ネットワークの統合
- (2) 校務支援システムのクラウド化
- (3) 教育ダッシュボードの創出

2 FAX及び押印の見直し

3 ペーパーレスの推進

4 校務におけるRPA・生成AI等の活用

5 その他

ICTを活用した採点業務の効率化について調査研究